県内経済情勢
（令和８年７月判断）

令和８年８月５日

財務省関東財務局
千葉財務事務所

照会先
千葉財務事務所 財務課（TEL 043－251－7213）
ホームページ https://lfb.mof.go.jp/kantou/chiba/

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項　　目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	**持ち直している**	⇨

（注）8 年 7 月判断は、前回 8 年 4 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項　　目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	⇨
生産活動	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	**持ち直しに向けた動きに一服感がみられる**	⇨
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	**緩やかに持ち直しつつある**	⇨
設備投資	7 年度は減少見込みとなっている	**8 年度は増加見込みとなっている**	↗
企業収益	7 年度は増益見込みとなっている	**8 年度は減益見込みとなっている**	↘
企業の景況感	「下降」超となっている	**「下降」超となっている**	⇨
住宅建設	前年を上回っている	**前年を上回っている**	⇨
公共事業	前年を下回っている	**前年を下回っている**	⇨

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費　「緩やかに回復しつつある」

百貨店販売額は前年を下回っているものの、スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額、ホームセンター販売額は、いずれも前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っている。娯楽などは緩やかに回復しつつある。このように個人消費は、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- ➢ 衣料品については前年比マイナスとなった。カスタムメイドは比較的堅調であるものの、オフィスカジュアルが進み、スーツ、ワイシャツ、革靴の需要が減少した。（百貨店）
- ➢ 消費者の節約志向が根強い中でも、価格に見合った品質で商品の魅力があるものは、品質への信頼を背景にプチ贅沢品として需要を取り込むことができている。（スーパー）
- ➢ 新車登録台数を前年比でみると、3 月に減少したものの、4 月以降は自動車税の環境性能割が廃止された影響でプラスで推移している。（自動車販売）
- ➢ 悪天候の影響があったが、旅行やレジャーにおける「安近短」の傾向が強まり首都圏等、近隣からの来場者が増加したほか、割引券配布の抑制等により入館料単価が上がったため、売上は前年を上回っている。（娯楽）
- ➢ イベントの減少や競合するホテルの開業の影響から、宿泊事業においては売上高・客数ともに前年比で減少したものの、宴会需要が増加し、全体でみると 4 月から 6 月の通期の売上高は前年比で増加となった。（宿泊）

■ 生産活動　「持ち直しに向けた動きに一服感がみられる」

生産を業種別にみると、石油・石炭などが増加しているものの、化学、食料品、鉄鋼、生産用機械などが減少しており、全体としては、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

- ➢ 顧客との年間契約に基づいて生産しているため、生産に大きな変化はなく引き続き堅調である。（石油・石炭）
- ➢ ポリプロピレンは主に自動車向けで堅調な動きがみられるほか、ポリエチレンなども世界的供給過多の影響を受けつつも前年並みの生産水準は維持している。一方、プラントの稼働率はナフサの供給状況を見極めつつコントロールしているため 8 割程度となっている。（化学）
- ➢ 中東情勢の影響で 4 月頃までは包装資材の調達に懸念があったが、6 月下旬までには正常化しており、生産量はほぼ前年並みを維持している。（食料品）
- ➢ 資材価格の高騰や建設作業員の人手不足に起因した受注の減少や進捗の遅延等もあり、鋼管の需要は継続的に右肩下がりになっているため、生産も引き続き厳しい状況にある。（鉄鋼）
- ➢ 法改正により、スクラップヤード業者はヤード場内のコンクリート舗装等の整備に多額の費用を要することになったため、ヤード内で使用する機器の受注減少が継続しており、生産にも影響が出ている。（生産用機械）

■ 雇用情勢　「緩やかに持ち直しつつある」

新規求人数は増加しているものの、有効求人倍率は横ばいとなっている。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。このように雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。

- ➢ 若手を中心とした転職の動きがみられる中で、退職者補充をリアルタイムで行うことは困難であり、製造現場での不足感が継続している。（製造）
- ➢ 従業員の不足感はあるが、何とか必要な人数を確保している状況である。求人情報の発信強化を目的として、外部の専門会社を活用している。（製造）
- ➢ 店長職の人材が不足しているほか、アルバイトについても不足しており、募集をしても集まらない状況。そのため、既存のアルバイトの中から優秀な人材を勤務地限定の社員として登用を進めている。（小売）

■ 設備投資　「8 年度は増加見込みとなっている」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 4～6 月期

○ 製造業では前年比 11.1%の増加見込み、非製造業では同 94.2%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同 82.7%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益　「8 年度は減益見込みとなっている」（全規模）「法人企業景気予測調査」8 年 4～6 月期

○ 製造業では前年比 26.4%の減益見込み、非製造業では同 1.7%の増益見込みとなっており、全規模では同 4.1%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感　「『下降』超となっている」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 4～6 月期

○ 先行きについては、8 年 10～12 月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設　「前年を上回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅のいずれも前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

■ 公共事業　「前年を下回っている」

○ 公共工事請負金額をみると、前年を下回っている。

県　内　経　済　情　勢
（令和8年7月判断）

（ 資 料 ）

目次　　（頁）

１．個人消費・・・・・・・・・・・　１

２．生産活動・・・・・・・・・・・　２

３．雇用情勢・・・・・・・・・・・　３

４．設備投資・・・・・・・・・・・　４

５．企業収益・・・・・・・・・・・　４

６．企業の景況感・・・・・・・・・　４

７．住宅建設・・・・・・・・・・・　５

８．公共事業・・・・・・・・・・・　５

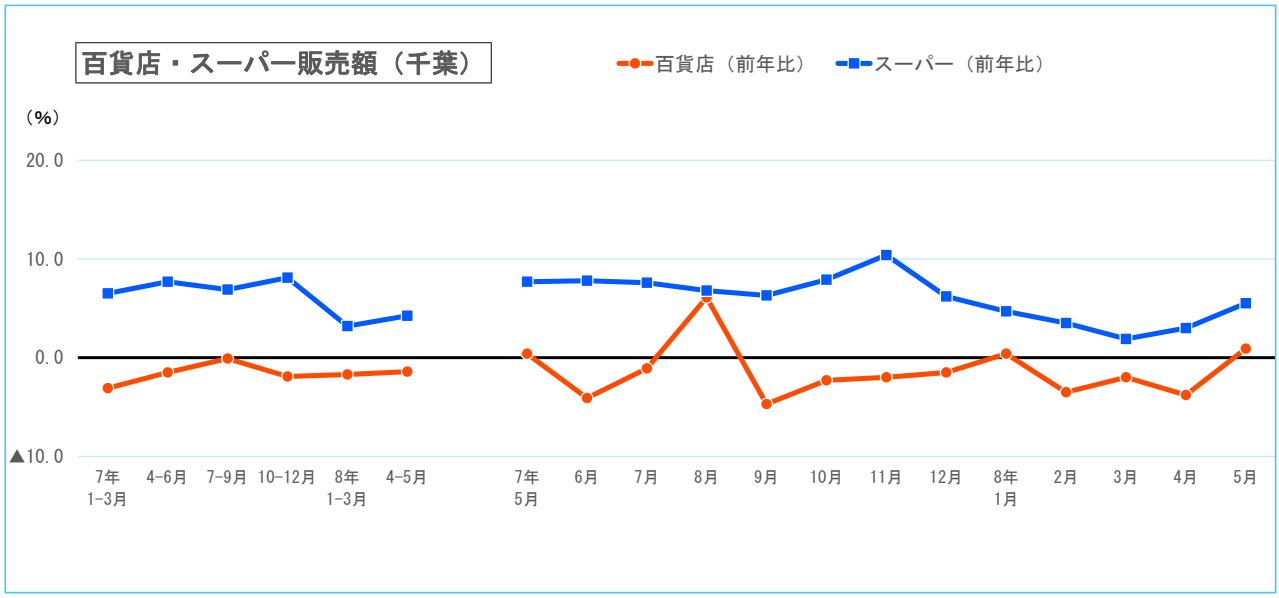
令和8年8月5日

財 務 省 関 東 財 務 局

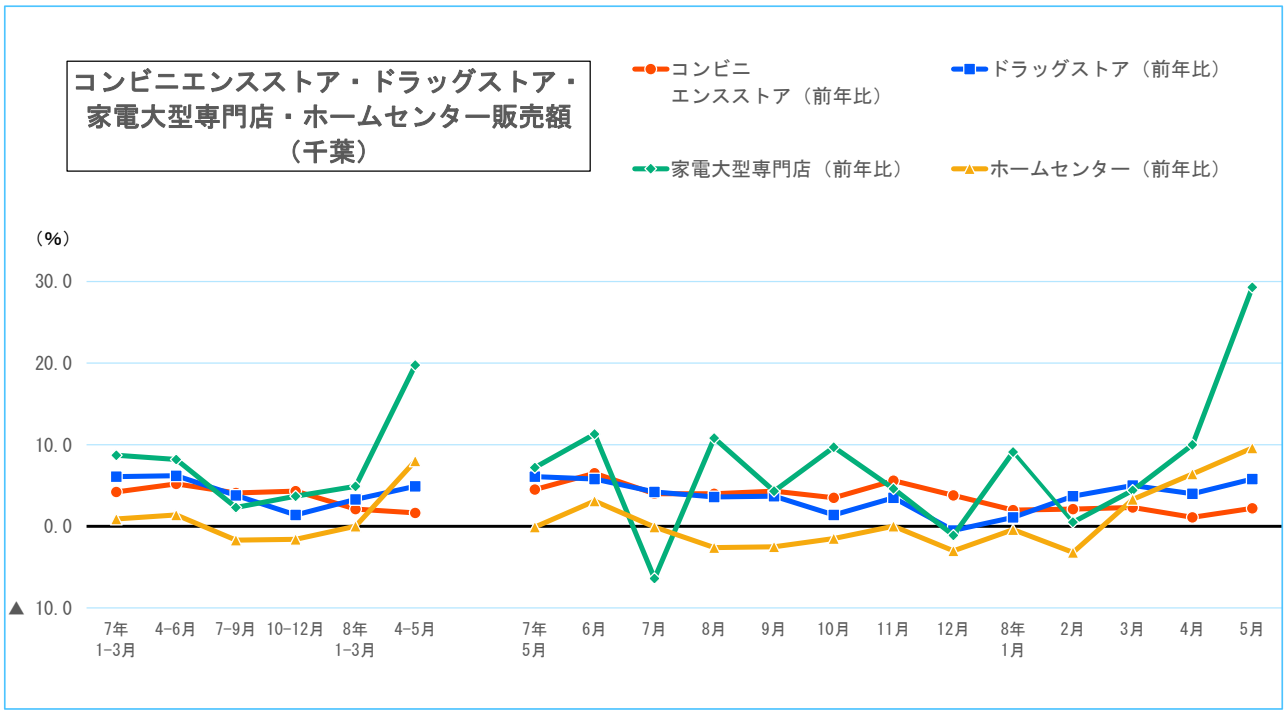
千 葉 財 務 事 務 所

1. 個人消費

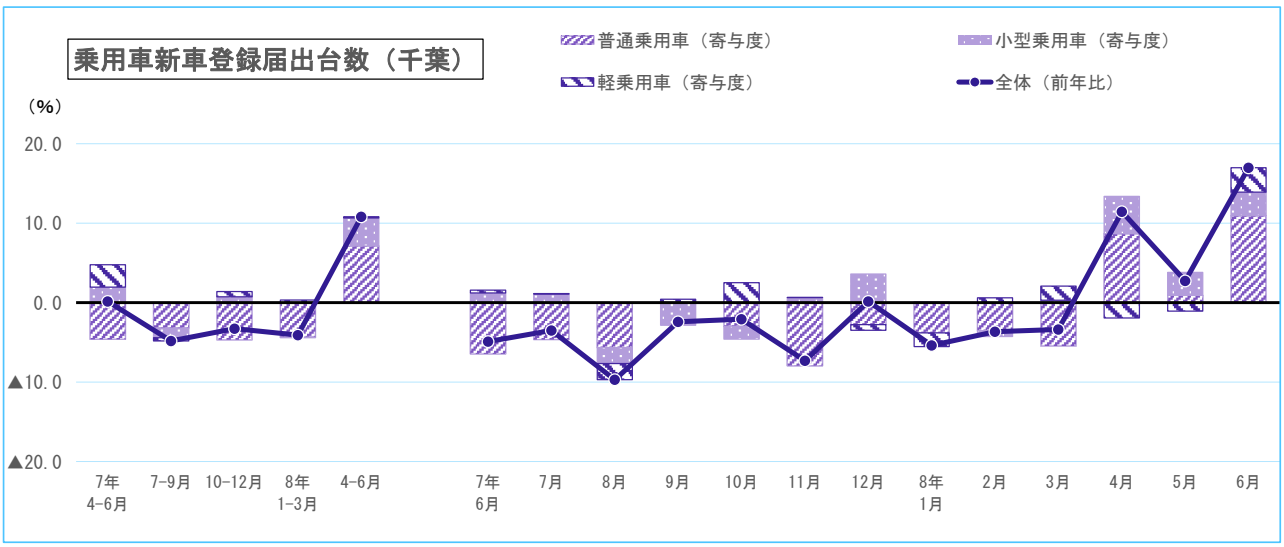
緩やかに回復しつつある



【経済産業省】



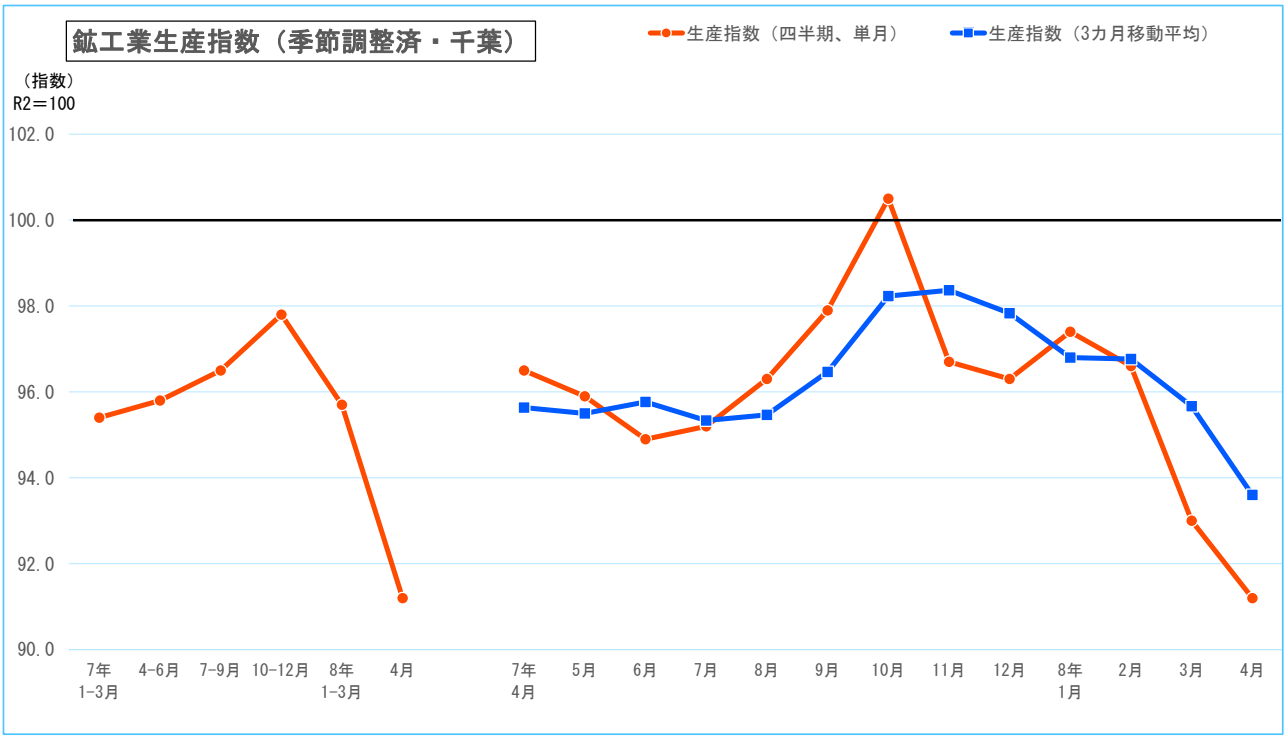
【経済産業省】



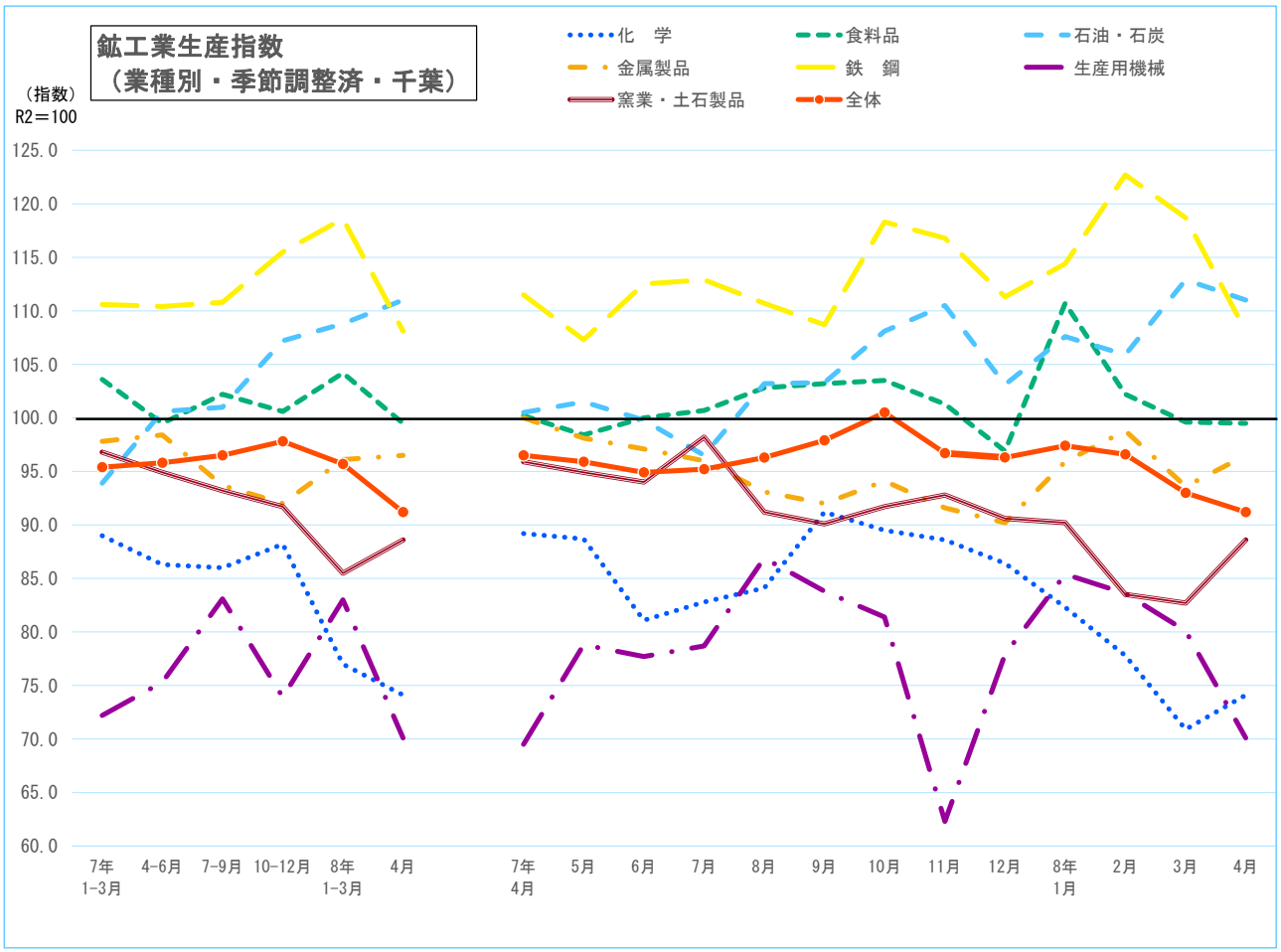
【日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会】

2. 生産活動

持ち直しに向けた動きに一服感がみられる



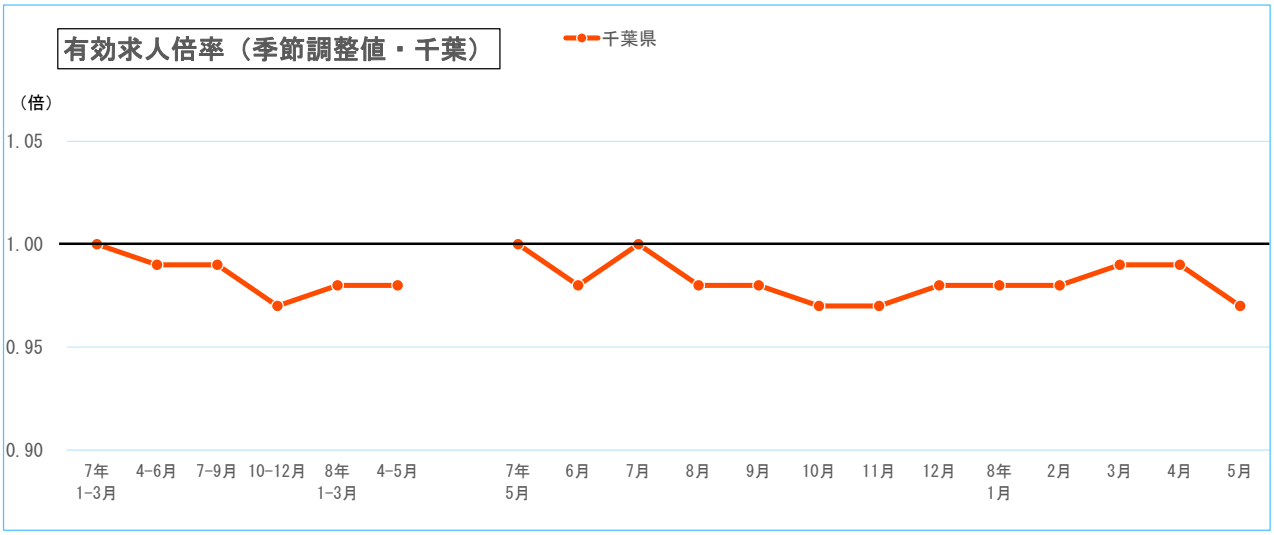
【千葉県】



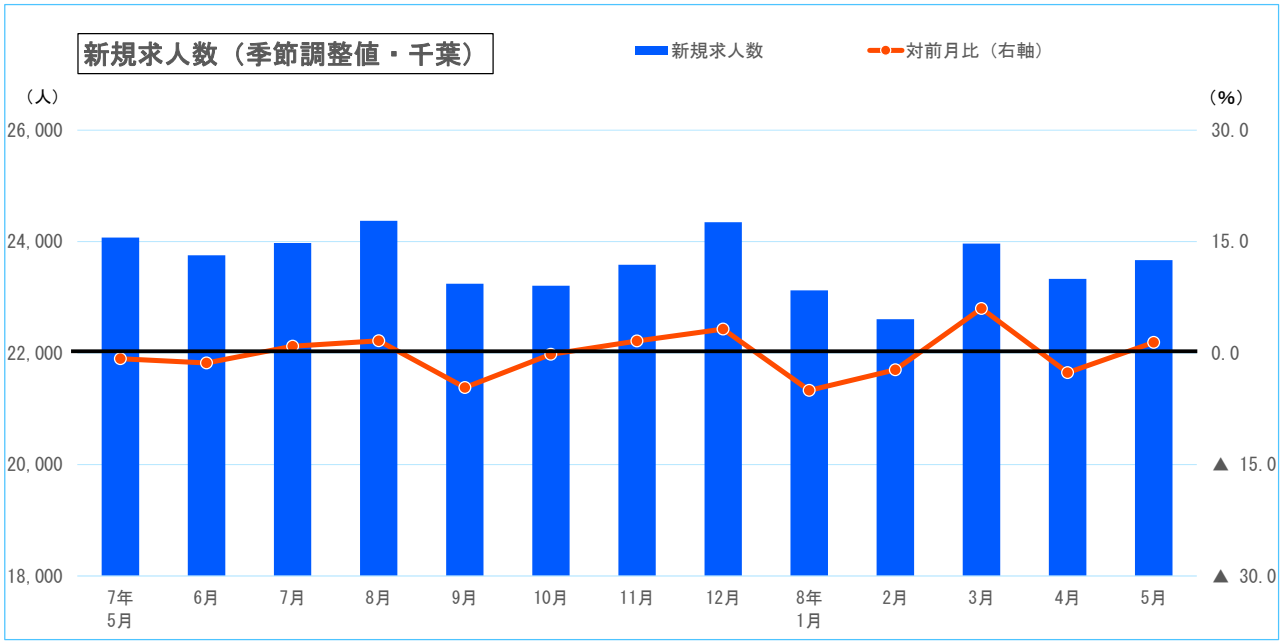
【千葉県】

3. 雇用情勢

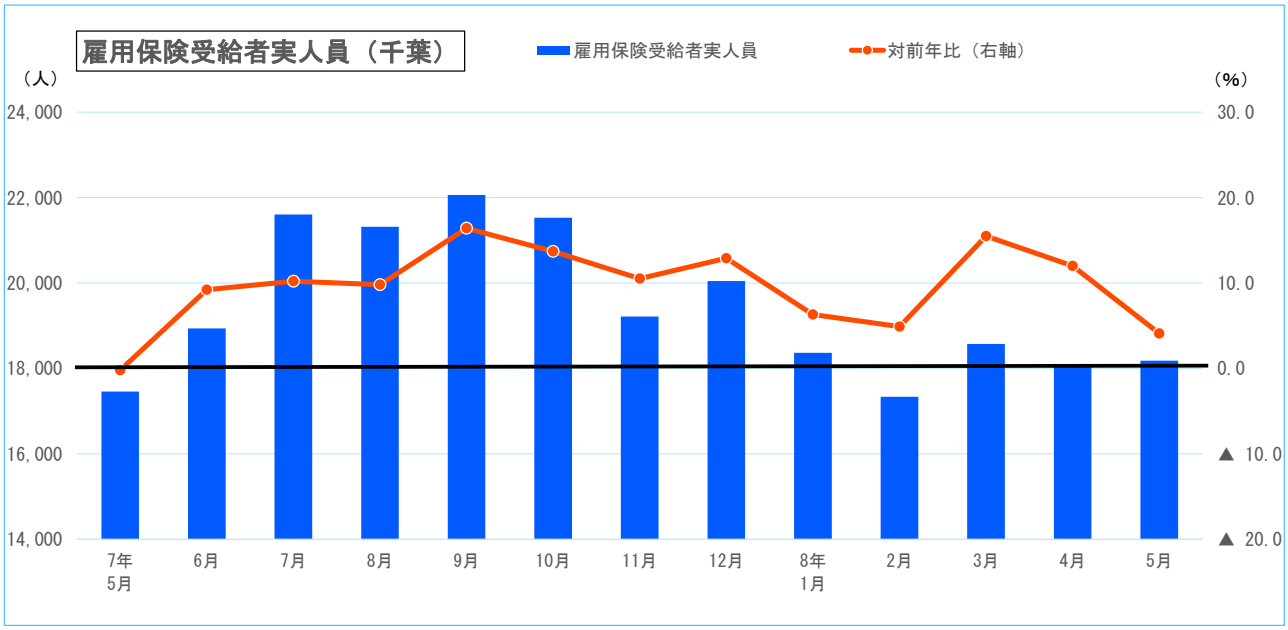
緩やかに持ち直しつつある



【千葉労働局】



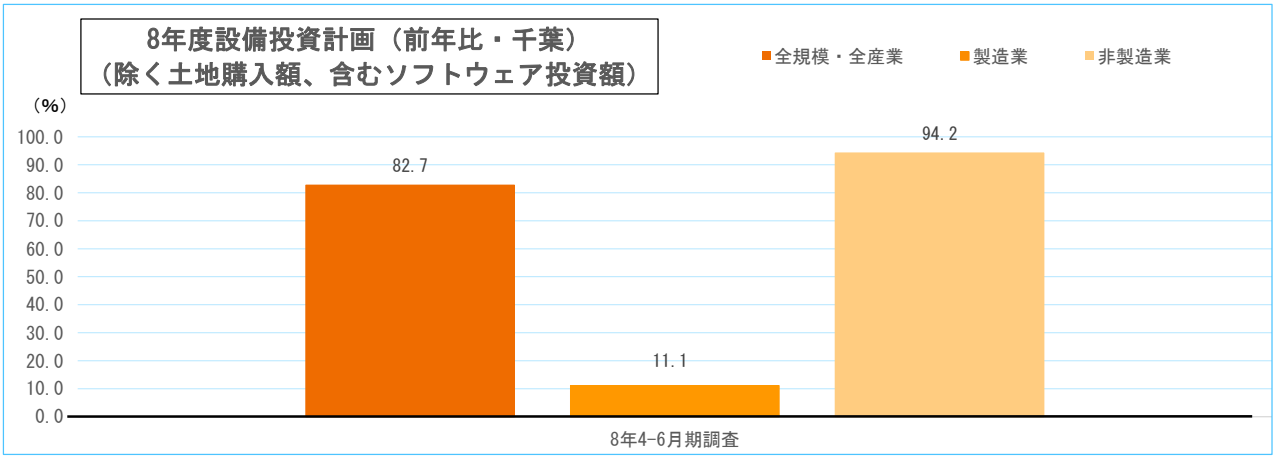
【千葉労働局】



【千葉労働局】

4. 設備投資

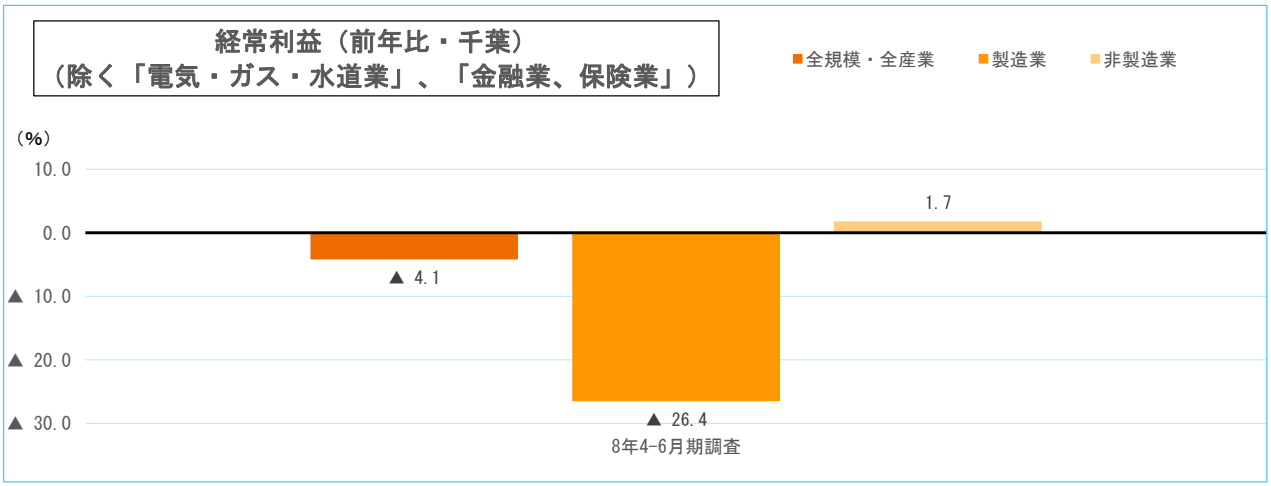
8年度は増加見込みとなっている



【千葉財務事務所（法人企業景気予測調査）】

5. 企業収益

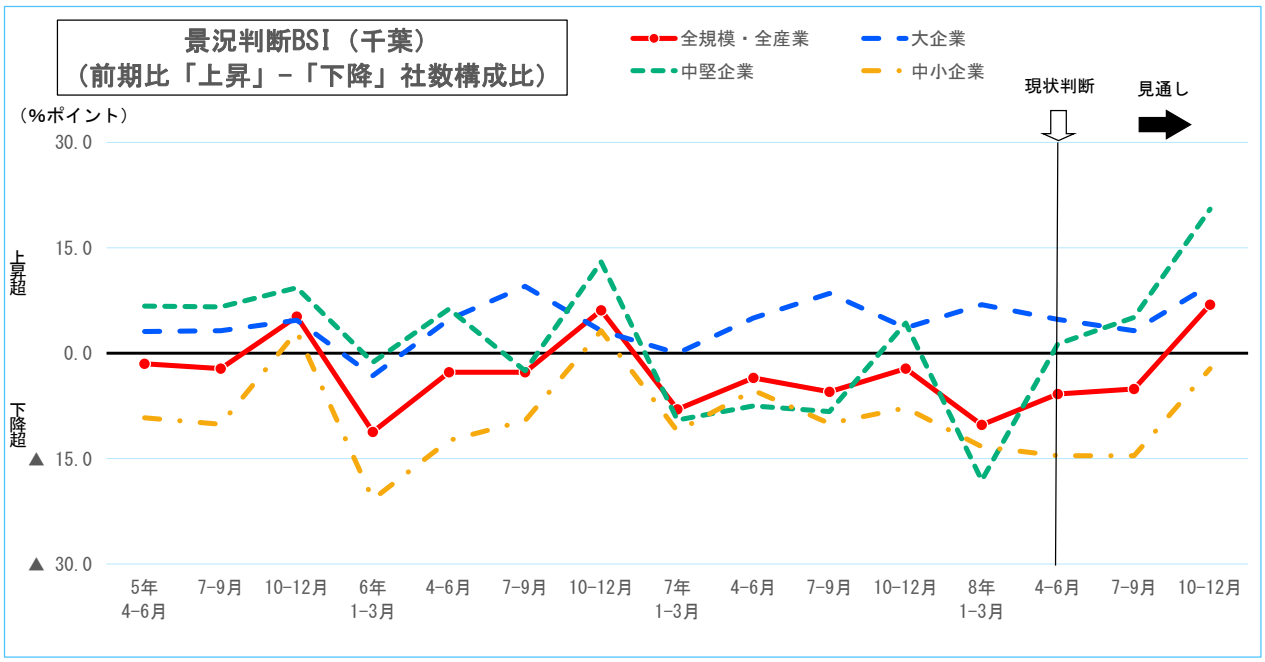
8年度は減益見込みとなっている



【千葉財務事務所（法人企業景気予測調査）】

6. 企業の景況感

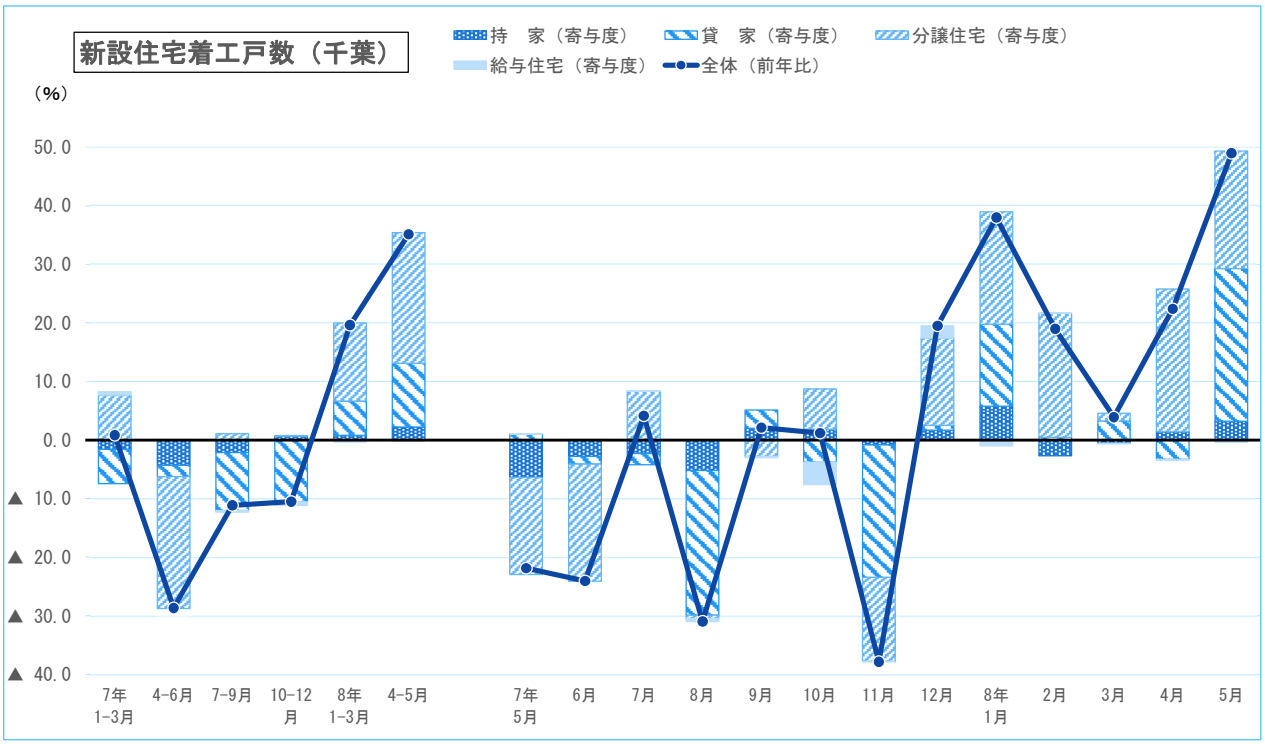
「下降」超となっている



【千葉財務事務所（法人企業景気予測調査）】

7. 住宅建設

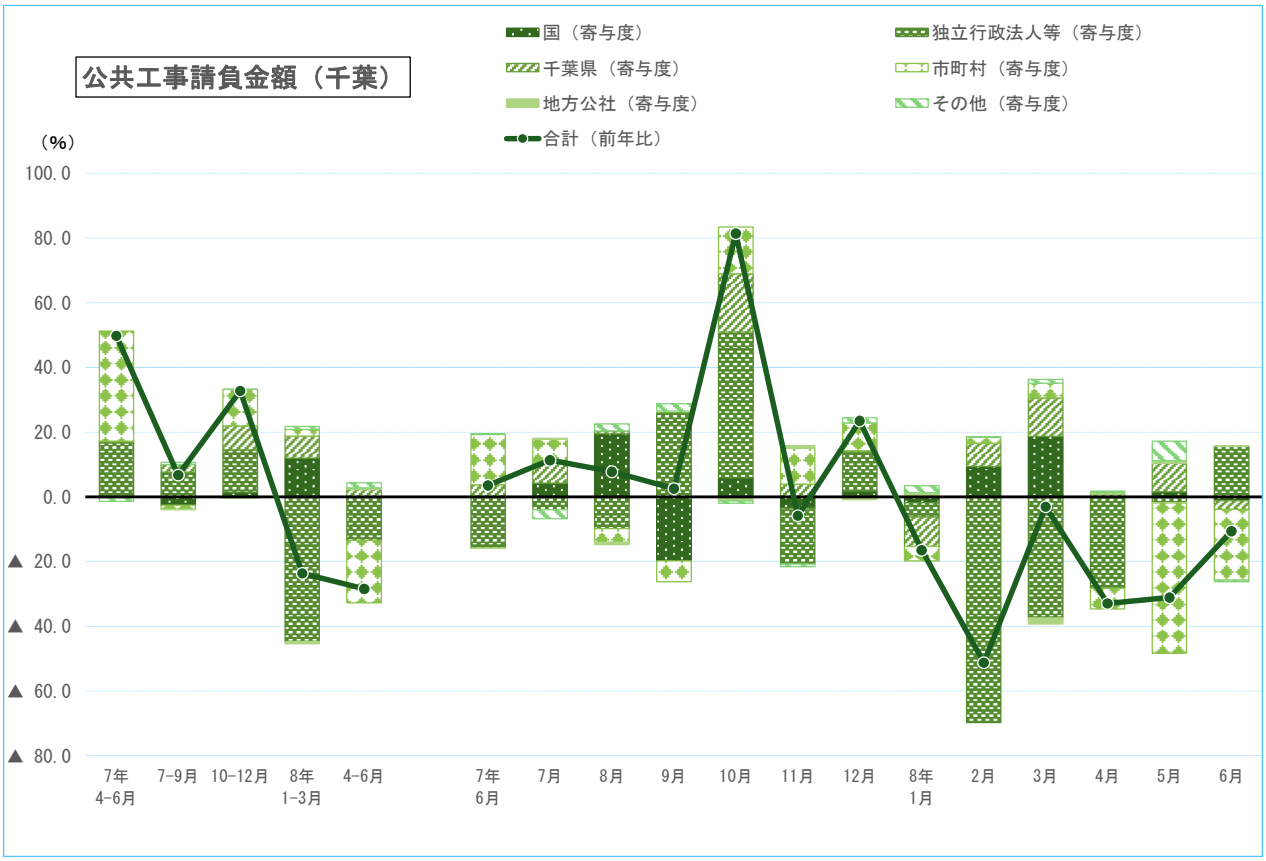
前年を上回っている



【国土交通省】

8. 公共事業

前年を下回っている



【東日本建設業保証株式会社他】